

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第117号 2020年12月16日 発行



COVID-19 (コロナ) 禍での作業療法の役割

公益社団法人 石川県作業療法士会 会長 東川 哲朗
(医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院)

世界作業療法連盟の作業療法の定義には「基本目標は、人々が日常生活の活動に参加できるようになること」とある。つまり対象は『日常生活の活動に参加できていない方』ということになる。

COVID-19により現代を生活している私たちは経験したことのない生活を余儀なくされている。様々な制約がある中で医療、介護機関などで懸命に働く作業療法士に敬意を表する。それぞれがこれまでのサービス提供とは異なる方法で業務に取り組んでいると察する。作業の変化を求められたことになる。しかし、私たちには制約や変容はあるが「作業」を失ったわけではない。「大変だよ」と言いながら対象者とマスク越しに会話し笑顔を交え交流することができる。私たちの前に存在する対象者の皆様も然りである。

では、本当に心配なのは、気かけなければいけないのはどの様な方か。「作業を無くしている」方ではないだろうか。日々デイ・サービスなどをご利用の方で心配で家から出られない、行きたいのに家族が心配して通えないなどの理由から通所サービスを敬遠することになった方が大勢おられた。地域で様々な活動に参加されていた方は、相次ぐ行事・イベントの中止で活動の場を失い家で過ごすことが多くなった方もおられた。

冒頭の作業療法の定義に戻ろう。今まさに、作業療法の出番ではないだろうか。先に挙げた方々に作業療法士は何ができるだろうか。通所を受け入れる施設は、感染予防のあらゆる手立てを講じることが必要なのはもちろん、その事を利用者やご家族にアナウンスしよう。地域の方には、策を講じて開催できる方法があることをお伝えしその実施を支援しよ

う。そんな事ができる、そんな事が得意な専門職であると自負している。

県士会では新しい生活様式での日常の『暮らしのひと工夫紹介』というリーフレットを作成した。限られた時間の中であったが協力頂いた会員のエネルギーが時間の制約を超え、大変すばらしい内容の物に仕上げてくれた。

当会の活動では、コロナ禍であっても新人の教育や会員の習熟の歩みを止めてはいけなとオンラインでの研修会を開催するためのシステムを準備した。この際にも、会員がマニュアル作りに取り組んでくれるなど様々な協力を頂いた。

「COVID-19は悪いことだけではないな」と感じている。会員の底力を見た。困難な状況下でも研修会参加や事例検討会の中にスキルアップに取り組む、事例の事を真剣に考えるそんな真摯な会員を多く見た。今年のCOVID-19への取り組みはこの状況が続いても私たちの活動が休止する事無く前進できることを明らかにしCOVID-19が落ち着いた後も新たな資産として残ると確信している。

最後に、私たちは人の作業を支援する専門職であるのだから、当然自身の健康を大事にし作業を楽しまなければいけない。感染予防の観点から様々な制約がある中で、自身の作業をどう楽しむか。私は趣味の楽器演奏を楽しんだ。ジム活が中断したため屋外ランニングを熱心に取り組んだ。それに加えて、自粛期間中に知ることができた著名人の講演会の配信や著書を楽しんでいる。さて、皆さんは対象者の方に作業実践を勧めるにあたりどんな作業を楽しんでいると披露するだろうか。

～新たな生活様式(暮らし)における暮らしのひと工夫～応援チラシ作成と活用のご案内

理事 中森 清孝(加賀のぞみ園)

新型コロナウイルスの感染状況が日々変化している社会背景や、感染状況が落ち着いたタイミングであっても感染を恐れて自粛を継続している(していくことが予測される)サービスが多く、地域との社会的交流機会が希薄になっていっしょる状況が予測される。

石川県作業療法士会では、地域社会に参加することが難しい状況下におかれている皆さま、あるいはこれまで健康で暮らしていたが新型コロナウイルスの感染予防の自粛等により暮らしが鈍化した皆さまに対して、「新たな暮らしの中でできる暮らしのひと工夫」のチラシを作成させて頂いた。

冬季感染症が流行するシーズンとなり、自宅で過ごす時間が多くなった時だからこそ、日頃からの暮らしを見直す機会につなげて頂きたい。実は、ちよっ

とした暮らしのひと工夫が心身の衰えを予防し、健康を保つ要素が沢山含まれている。コロナ禍での暮らしに活用して頂き、充実した暮らしの実現に役立てて頂きたい。

尚、石川県作業療法士会のホームページより、新型コロナウイルス対応についての紹介が他にも掲載されており、ご活用して頂きたい。



Webを活用した研修会について

学術部部長 堀江 翔(金沢大学附属病院)

5月からZoomを使用した研修会を開始している。画像付きのマニュアル、事前の練習会の実施により、大きなトラブルはなく実施できている。また、先日日本作業療法士協会のMTDLP拡大連絡会議にて、先駆的にWeb研修を実施している県として報告を行った。Web研修が未実施の県も多く、取り組みに対し具体的な質問や賛辞をいただいた。Web開催の大きなメリットとして、これまで県内の研修は金沢で実施されることが多く、加賀、能登の会員の方々は距

離の問題も大きかったが、Webであれば自宅から移動ゼロで参加可能である。参加された子育て世代の方からも「ありがたい」との意見をいただいております。時々お子さんがカットインしてくる映像も微笑ましい。これを機に距離、時間的な制約で参加できなかった方々も、様々な支部・部局でのWeb研修会が予定されているので、気兼ねなく参加していただきたい。また、実施方法の改良も随時行っていくので、未参加の方からも様々な意見をいただきたいと思います。

第54回日本作業療法学会(新潟)に参加して

川上 依里子(十全病院)

9月25日(金)～10月25日(日)に開催された第54回日本作業療法学会に参加した。今回はコロナ禍での開催のため、Webで1か月間開催された。今回の学会は「作業の魅力・作業の力～暮らしを支える作業療法の効果～」のテーマが設定されており、私自身ポスター部門で発表させていただいた。日本作業療法学会での発表自体が初めての経験であり、Webでの開催が決まるまでは実際の会場で発表する事への緊張感やワクワクもあった。そして、実際に参加してみ

る事で、Webならではの利点も感じられた。今回は期間内であれば24時間公開されており、ネット機器が揃う環境であればどこにいても参加可能であった。私自身、仕事後や自宅での隙間時間にパソコンやスマホから視聴し、時間や場所の縛りがないため気軽に参加出来た。また、見たい演題の時間帯が重複する心配がない点も利点であった。

今回はコロナ禍ならではのWeb学会の魅力を感じる事が出来、とても貴重な体験となった。

現職者選択研修会(老年期)に参加して

小原 能子(山中温泉しらさぎ苑)

10月4日(日)に開催された現職者選択研修(老年期)に参加した。今回の研修会はコロナ禍での開催ということもあり、一日Webでの開催となったが、合歓垣洗一氏(芳珠記念病院)、川崎愛氏(金沢脳神経外科病院)、合歓垣紗耶香氏(ディサービス零)、川上直子氏(恵寿総合病院)の4名の講師から濃密な講義をいただいた。印象に残ったことのひとつとして、高齢者の方々の中にはいつまでも仕事をしたいと考えている方が多く、健康づくりへの意識も高まっているということがあり、介護予防の重要性を感じた。

講師の先生方による事例紹介を通じて、地域包括ケアシステムに基づき、医療・入所・通所場面での介入方法やチームアプローチの考え方などを知るこ

とができた。また、終末期では、生活・人生に焦点を当て、QOLを最期まで保つことを目標としたエンドオブライフケアの考えが重要であり、ご本人が望む医療やケアについて、繰り返し話し合い共有する「人生会議」については大変興味深かった。

今回の研修会参加を通じて、高齢者が自分らしい生活を送るには、今までの人生や価値観、これからどう過ごしたいかを知ることが重要であると再認識することができた。

老年期は介護予防から終末期まで幅広く、人生のまとめの段階である。老年期に関わる作業療法士として、対象者の人生に寄り添い、その人らしい作業の実現を支援していきたい。

臨床実習指導者講習会の開催

理事 米田 貢(金沢大学)

2020年4月より理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインが適用され、各養成校では現1年生から新しいカリキュラムでの教育がはじまっている。卒前の実習生を指導する上で、また新しいカリキュラムで教育を受けた卒業生と将来仕事する上で、臨床実習の受け入れに関わらず、作業療法士にとって必須のプログラムになっている。今年度は感染症拡大による様々な制約のある中での開催になるが、多数の指導者を養成できるよう準備してきた。

講習会日程は令和3年2月27日(土)と28日(日)、3月13日(土)と14日(日)にそれぞれ2日間のプログラムでの開催予定となった。予定は変更されることもある

ため、最終的な内容は別途案内で確認いただきたい。また、参加者には以下の点について注意いただきたい。①対象は実務経験4年以上であること、②パソコンで参加すること、③事前(別日)の通信環境および操作確認に参加することが必須である。これまでに講習会のweb開催が日本作業療法士協会および他士会でも多数実施されている。事前の確認がされることで、大きなトラブルがほとんどなく実施されている。グループワークを含むが、事務局では不安なく参加できるように配慮するので多数の参加をお願いしたい。質問などは遠慮せずに事務局へ問い合わせいただきたい(otishikawasv@gmail.com)。

災害対策委員会、JRAT石川の活動について

災害対策委員会 委員長 東 ひとみ(石川県リハビリテーションセンター)

1. 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練の結果報告

昨年度同様、9月25日11時に日本作業療法士協会の発信の元、安否確認の訓練を実施した。今回は、理事、委員の所属機関だけではなく、災害拠点病院・DMAT指定医療機関の一部にも参加いただいた。今年度はLINEのオープンチャットをはじめ活用した。訓練当日中に20機関20名の返信があり、県士会員863名中185名の安否確認ができた。参加いただいた方には、業務の傍ら休日者・産休者等の安否確認もしていただき、感謝したい。今後も継続予定であり、会員全体に拡大したいと考えている。

2. 災害対策委員について

今年度、委員の募集を実施した。結果、これまで4名(担当理事を除く)であった委員が13名の体制となった。自ら申込みした会員、各支部の関係から協力を快諾いただいた会員ともに感謝したい。今後は各支部に2名以上の委員を配置して、当会の災害対策の体制強化に努

める。会員の皆さんにも理解と協力をお願いしたい。

3. JRAT石川について

今年度設立2年目を迎えた今年度は、オンラインでの研修会を7回シリーズで企画した(表)。平日の夕方

開催としたので、個人あるいは施設として参加し、いつ起こるかわからない災害に関心を持っていただきたい。講師には経験豊かな先生方をお願いしている。普段では中々呼びできない先生にも全国からオンラインでご講演いただくので、この機会を有効に活用いただきたい。申し込みは専用URL (<https://forms.gle/BxpsSSHvHcULpikr6>)から可能である。

開催日時	内容・講師
第1回 12月17日(木) 17:30~18:30	「災害医療について ～リハ職にとって必要な知識～」 講師：国立病院機構災害医療センター 医師 小早川 義貴 氏
第2回 12月18日(金) 17:30~18:30	「災害リハビリテーションについて(仮)」 講師：(一社)日本災害リハビリテーション支援協会 代表理事 栗原 正紀 氏
第3回 1月15日(金) 17:30~18:30	「災害時に我々が出来ること 西日本豪雨災害～台風19号の支援を経験して～」 講師：三重中央医療センター 言語聴覚士 梅原 健 氏
第4回 1月21日(木) 17:30~18:30	「災害支援に係る地域JRATの必要性について」 講師：茨城県作業療法士会 会長 茨城JRAT 副会長 大場 耕一 氏
第5回 2月4日(木) 17:30~18:30	「2019年台風19号水害における福島JRATの活動」 講師：福島県立医科大学 リハビリテーション医学講座 大井 直往 氏
第6回 2月15日(月) 17:30~18:30	「災害時の介護支援専門員の役割について(仮)」 講師：Kumamoto JRAT 介護支援専門員 加来 留 氏
第7回 3月11日(木) 17:30~18:30	「災害時のJRAT本部機能について(仮)」 講師：日本理学療法士会 副会長 齋藤 秀之 氏

能登支部

支部長 小川 正人(恵寿総合病院)

10月9日(金)に事例検討会を開催し2事例の発表、28名の参加があった。脳梗塞で調理動作の組み立てが難しい事例に、前もって動画など視覚情報を与えフィードバックする事で基底核損傷による行為障害(行動の計画、プログラミング)を補完し一連の行為を上手く導いた内容は大変興味深かった。2題目は短

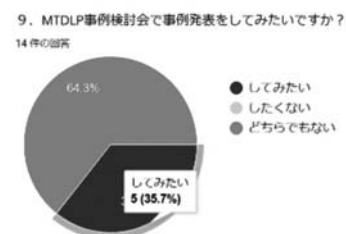
期記憶障害で病識が乏しくメモリーノートの活用に難渋した事例にどう向き合うべきだったか意見を求める形式であった。こちらにも具体的な意見が多く挙がり参考となった。令和3年2月6日(土)に第3回事例検討会を予定している。

金沢西支部

支部長 長原 美穂(石川県リハビリテーションセンター)

今年度の支部事業は、MTDLP事例検討会(令和3年2月10日(水))と事例検討会(令和3年3月3日(水))を残すのみとなった。MTDLP事例検討会は、発表者の確保に苦慮している。第2回検討会後のアンケートによると、嬉しいことに「発表してみたい」と回答された方が5名おられた。今後の応募を期待している。また「ど

ちらでもない」と回答された方も多く一歩踏み出していただけにはどうしたらよいだろうか。ご意見をいただければと思う。



金沢東支部

支部長 堀江 翔(金沢大学附属病院)

9月16日(水)にMTDLP事例検討会を実施した。河北中央病院の市川翔悟氏に事例登録を行った事例の紹介と査読結果について発表いただき、登録の流れや具体的なアドバイスなど、今後登録を目指す方々には非常に参考になったと思われる。10月23日(金)

に一般の事例検討会を実施し、6事例とミニレクチャーという中身の詰まった会となった。今後もWebでの開催が予想されるが、東支部ならではの内容を準備しているので、幅広い方々の参加を期待している。

加賀支部

支部長 西村 幸盛(片山津温泉・丘の上病院)

10月14日(水)の事例検討会では30名が参加し、3事例の発表があった。脳梗塞により左片麻痺を呈した症例に対し、本人が望む意味のある作業を提供し、活動の幅が広がった事例や、慢性心不全だが心負荷の理解が困難な高齢患者に対して生活様式の見直し

を行った事例、間質性肺炎により自宅退院が困難になった事例に対して退院後の生活をイメージした作業療法を提供した事例について報告があり、有意義な学びや振り返りの場となった。

(一社)日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会主催 「地域支援事業に資する人材育成研修会」 参加報告

地域包括ケアシステム推進委員会担当理事 村田 明代(やわたメディカルセンター)

(一社)日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会主催の人材育成研修会が今年も5月26、28日、8月8日、10月3日の3回開催され、当会から寺田副会長と私の2名が参加した。

委員会担当の佐藤孝臣理事から、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組み事業」への作業療法士が明記されたこと、2020年度の保険者機能強化推進交付金および介護保険保険者努力支援交付金に係る県や市町の評価指標についてなど最新の地域包括ケアに関する情報提供があった。また、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進の過程にありながら、コロナ禍により活動機会・運動機会の狭小化、不活発習慣の長期化を余儀なくされている現状や、地域ケア会議や施策等検討会議

の開催も難しい中、市町がリハ職に何を期待し、それに対して作業療法士がすべきことの提案があり、新たな活動・参加のスタイル(例えば、サロンや地域ケア会議等のオンラインでの実施、テレビ電話やSNSなどの通信機器の有効な活用など)の可能性が提案された。活動、参加の促進には「移手段」の確保が課題がある。コロナ禍終息後にもこれらが有効な支援方法の一つとして活用され、新しい生活様式の創出のチャンスにも成り得るとポジティブに考えるきっかけとなった。

来たる令和3年1月24日(日)に開催する地域包括ケアシステム推進委員会と健康福祉部の共催「地域支援事業に資する人材育成研修会」にて伝達をおこなうので、ぜひ参加いただきたい。

書籍紹介：一読の価値あり！ ～仕事に取り組む姿勢を考え直そう～

学術部担当理事 河野 光伸(金城大学)

正しい知識に基づいた医療を提供するために探究心を持って学び続けることは、良き医療従事者の重要な条件の1つである。しかし近年、作業療法士の増加に伴い多くの研修会が開催されるようになったが、各研修会参加者は増加していない。この研修会離れの現状は作業療法士に限ったことではなく、他職種別の研修会でも耳にする話題である。もちろん、各自で文献や著書を読み、自己研鑽している方もいるだろう。

ところで、20年以上前のある高名なりハピリテーション医と食事をしていたとき、こんな話になったことを思い出した。「医師国家試験に態度や性格の試験を入れたいよね。作業療法士もそうでしょう。性格が良ければ時間をかけることで臨床家として良くなるもんね。」この数年後、別の高名なりハピリテーション医との雑談の中でも同じ話題になった。この

話は、仕事への取り組み方がその後の臨床家としての能力を左右することを意味している。

そこで、みなさんに「岩瀬大輔:入社1年目の教科書、ダイヤモンド社:2011/¥1,429+税」を紹介したい。私も出版直後に購読したが、50万人の方が読んでいるベストセラーである。ちなみに、今でも本屋に並べられており、私の購読時とは帯が変わっていたことにも驚いた。

今回、あえて医学書ではない書籍を紹介させて頂いたが、新人のみでなくベテランの方も一読頂き、社会に対して責任ある倫理意識を持って仕事に臨んでほしい。



ハイブリッド学会に参加しよう！

第29回石川県作業療法学会 学会長 高多 真裕美(金沢脳神経外科病院)

第29回石川県作業療法学会は、令和3年7月3日(土)～4日(日)の2日間、金沢歌劇座の大集会室をメイン会場に、オンライン併用のハイブリッド開催と決定した。テーマは「人々の健康と幸福を促進する作業療法～専門職としての挑戦～」である。今回の感染拡大は、誰もがいつもの作業を振り返り、新しい作業の形を模索し、挑戦する機会になった。作業療法士の活躍の場は広がっている。いつもの場所で、いつもの作業療法を提供するだけでなく、地域の人々を元気に、幸せにできる作業療法士の育成が急務である。本学会では全作業療法士に共通するテーマとして、佐藤孝臣氏((株)ライフリー、作業療法士)に地

域包括ケアシステムについて、西田征治氏(県立広島大学、作業療法士)に認知症予防から支援についてご講演をいただく。また県士会・SIG活動紹介など様々な企画に挑戦する。より多くの方にご参加いただき、新しいことに挑戦する機会になることを期待したい。

学会公式Web
ishikawaot29.wixsite.com/website



公式SNS



第29回石川県作業療法学会
#ishikawaot29
#第29回石川県作業療法学会

ビデオコンテスト作品を募集！！

企画部部长 岡 純矢(桜ヶ丘病院)

当士会は一般の方が「作業療法」を理解していただけるような紹介ビデオを公募している。作業療法の

啓発活動が医療、保健、福祉、教育、職業など多岐に渡る場面に役立ち、一般の方に認知してもらうことにより将来の作業療法士の人材確保にも繋がると考える。

参加費は無料、内容はビデオコンテンツであれば静止画、動画問わない。病院内は勿論、様々な現場で活躍している作業療法の紹介、自身が考える作業療法についてまとめた動画など様々な作品を作成して欲しい。優秀作品には賞金を準備しており、要項などの詳細は当士会ホームページを参照して頂きたい。

様々な創意工夫を凝らした作品が多数応募あることを期待している。


公益社団法人 石川県作業療法士会
ビデオコンテスト『作業療法』作業療法士の紹介を募集します！

一般の方が『作業療法』『作業療法士』を理解いただけるような啓発ビデオをコンテスト形式(一般部門・学生部門)で募集します。

応募資格: 個人、団体、フロ・アマチュア、居住地を問わず、いかなる方も応募可能
※未成年の場合は保護者の同意が必要

募集期間: 令和2年9月28日(月)～令和3年1月10日(日)(必着)

賞(一般・学生部門ともに)(各1点ずつ)
最優秀賞 賞金 8万円 優秀賞 賞金 4万円
奨励賞 賞金 2万円



募集要件
①応募者本人が作成したオリジナル動画、他のコンテスト等に応募していないもの。
②1作品5分以内の映像作品、表現方法(実写、CG、アニメ、スライド等)は問いません。
③1応募者の作品数は問いませんが、入賞は1応募者1作品まで。
④応募者以外の被写体(人物、商標、個人の建築物等)については、当該人や権利者の承諾を得てください。

応募方法
①作品をDVDに保存し、別紙応募用紙を添付の上、下記のいずれかの提出先に郵送または持参により提出してください。尚、DVDの返却は致し兼ねます。
②応募は無料です。ただし作品の制作費および送料等の費用は応募者負担です。

審査方法: (公社)石川県作業療法士会理事連絡会にて審査
結果発表: 令和3年3月に当会ホームページで発表

その他
①作品の著作権を当会に譲渡して頂きます。
②応募に当たり、必ず別紙実施要項をご確認ください。
③作品の作成に当たり、新しい生活様式を考慮した上、感染予防に努めてください。
④お問い合わせはメールにてお願いします。

提出先・問い合わせ先
木島病院 石川県作業療法士会 ビデオコンテスト担当 桂
Mail: katsura●kijima-hp.or.jp ※送信時は●を@に置き換えてください



【石川県作業療法士会HP】



【実施要項】

◆◆◆令和2年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和2年9月9日(水) 19時～20時30分 西泉事務所及びWeb (Zoom)の使用
2. 会場出席：東川、安本、麦井、渡邊、桂、種本、山下(書記)
Web出席：村田、大西、明福、高多、河野、米田、中森、白山、永井、合歓垣、西村、長原、小川、山本(書記)
3. 議事

【審議事項】①研修会等の参加費徴収及び決済の管理を各事業の担当部署で行う。承認 ②事務局業務の効率化および災害対策に備え西泉と野々市事務所に携帯電話を設置する。これに伴い野々市事務所の固定電話を解約する。承認 ③令和3年度石川県作業療法学会を令和3年7/3～7/4に開催する。承認 ④COVID-19の影響で中止となった啓発事業の代わりとして、作業療法紹介ビデオコンテストを企画部事業として開催する。一般部門と学生部門を設け両部門に同額の賞金を授与する。審査は年明けの理事連絡会で行う(予定)。作品の著作権は協会とし、ホームページに掲載する。案内チラシを正会員・賛助会員・会員所属施設長・関係団体へ発送する。承認 ⑤今年度から発行を再開する会員名簿について、支部内の担当部署名を支部間で統一する。配布先は会員が所属する施設とその施設長および賛助会員に各1冊とする。承認

【報告事項】①今年度の中間決算見直しについて財務理事から説明があり、COVID-19の影響を考慮した補正予算案を次回理事会までに検討する。

◆◆◆令和2年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和2年11月13日(金) 19時～19時30分 西泉事務所及びWeb (Zoom)の使用
2. 会場出席：東川、寺田、安本、麦井、桂、白山、合歓垣、明福、後出雅敏(監事)、堀江、長原(支部長)、山下(書記)
Web出席：村田、大西、渡邊、寺尾、高多、河野、米田、中森、永井、種本、進藤浩美(監事)、西村、小川(支部長)、田中(書記)
3. 議事

【議決事項】①令和2年度補正予算についてCOVID-19の影響で未実施となった事業費は次年度の事業費へ補填すると安本副会長より報告があった。監事より感染症に対する備蓄が必要であるとの意見と、ビデオコンテスト開催の経緯について質問があった。会長よりビデオコンテスト開始の経緯について回答があった。承認 ②令和元年度実績報告において法人会計の黒字決算を解消するよう県から指摘があり、対応策として安本副会長より会計部門への収入配賦割合変更案が提示された。承認

◆◆◆令和2年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和2年11月13日(金) 19時35分～21時15分 西泉事務所及びWeb (Zoom)の使用
2. 出席：第3回理事会に同じ(監事以外)
3. 議事

【審議事項】①令和3年度県OT学会で企画していた一般公開講座はCOVID-19の影響があるため控えることとし、代わりに特別講演へ変更する。承認 ②3月の診療報酬改定研修会時に生涯教育制度の説明会を同会場で開催する。承認 ③支部部員への会議費はネットなどを使って間接的に支払えるようにする。継続審議 ④Web併用研修会で使用する機器の設定及び管理方法を西泉事務所ですべて練習する。承認 ⑤令和3年度風船バレーボール大会の日程候補を9/23(木・祝)、11/21(日)、11/23(火・祝)とする。承認 ⑥ビデオコンテストの案内を県内の各種専門学校へ郵送する。承認 ⑦広報誌COTOT6号の内容について検討。承認 ⑧研修会等の参加費徴収及び決済の各事業担当部署での管理は、マニュアル等の整備のため令和3年4月からの開始とする。承認

インフォメーション 研修案内・県士会活動

1/17 (日) 教育部
現職者共通研修

1/20 (水) 加賀支部
第3回MTDLP事例検討会

1/22 (金) 精神医療部
第2回精神医療部勉強会

1/27 (水) 金沢東支部
第3回MTDLP事例検討会

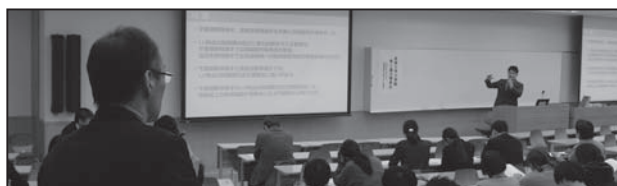
2/5 (金) 金沢東支部
第3回事例検討会

2/10 (水) 金沢西支部
第3回MTDLP事例検討会

2/17 (水) 加賀支部
第3回事例検討会

3/3 (水) 金沢西支部
第3回事例検討会

3/27 (土) 病院医療部
在宅支援部
診療・介護報酬改定研修会



「超高齢社会」、
そして「アフター・コロナ」に向けて。
現場の悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。

金城大学 大学院で学んでみませんか？

総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

- ・遠隔オンライン学習対応
- ・就業しながら学べる昼夜開講制
- ・安心設定の学納金



2019年度 作業療法士 他、国家試験、現役生全員合格！
金城大学 国家試験合格率 100%（2019年度卒業生実績）

介護福祉士	第 32 回	35 人 / 35 人
理学療法士	第 55 回	58 人 / 58 人
作業療法士	第 55 回	17 人 / 17 人
看護師	第 109 回	76 人 / 76 人

金城大学

詳しくは、本学ホームページで
ご確認ください。



全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス

施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気ででもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革 目標

2023年に向けた

公休数

120日

残業

0時間

有給取得

100%

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けられてもらうことが多いのですが、これからは私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

出店計画

<p>■ 北海道エリア</p> <p>PDハウス野芥 2020.11</p> <p>札幌2号店 2021.春</p>	<p>■ 関東エリア</p> <p>PDハウス相模大野 2021.01</p> <p>東京1号店 2021.夏</p> <p>神奈川2号店 2021.秋</p>
<p>■ 福岡エリア</p> <p>PDハウス有田 2020.06</p> <p>PDハウス今宿 2021.05</p>	<p>■ 関西エリア</p> <p>PDハウス岸部 2021.06</p> <p>大阪2号店 2021.秋</p>

働き方公開中!

介護サービス **サンウェルズ**

| 0120-905-166

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生学生会んやま健康クリニック
医療法人社団千木福久会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会
医療法人積仁会

金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団博友会
医療法人社団光仁会
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウオーター・リンク株式会社北陸支店
株式会社ヤマシタ
セントラルメディカル株式会社
株式会社メディベック
株式会社サンウェルズ
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院
学校法人阿弥陀寺教育学園

D会員

医療法人社団あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。



会員数

会員数 863名(令和2年11月現在) 認定作業療法士 31名 専門作業療法士 5名

令和2年度会員名簿に下記の誤りがありました。関係者には深くお詫び申し上げます。



頁		病院	会員番号	氏名	頁		病院	会員番号	氏名
35	正	公立能登総合病院	77747	寺田 千紘	35	正	公立羽咋病院	48326	生田 真梨子
35	誤	公立能登総合病院		寺田 千紘	35	誤	公立羽咋病院	48326	大石 真梨子

編集後記

2020年はCOVID-19の猛威が様々なひとの暮らしに大きな影響を与えた。今まで変化が難しいと思っていた慣習が驚くほどの速さで改善されたり、やはり前例に習い続けるイベントがあったり、人や集団の行動変容には多くのエネルギーが必要だと再確認した。今回、初めて編集を担当して県士会活動は誌面に登場される方々を始め、多くの会員の皆さまの協力で成り立っていることを改めて感じた。だからと言ってぜひ皆さんも！とは思わないが、ご尽力されている方々には改めて感謝と尊敬の意を表したいと思う。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：明福真理子、白山武志、酒野直樹、田中菜美、萬貴裕、藤田隆司、川口朋子、
寺井利夫、太田哲生、佐藤望、網谷郁美、西谷早紀、南朱音、上野玲子、福岡翔平

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社